



羽村市
議会だより
9月定例会号

愛情ギュッとず〜っとはむら

びかいのトビラ



【特集】市民インタビュー
パソコンを通して広がる輪
新たな学びへのチャレンジを親切にサポート
パソコンなかま

P2

No.135
令和3年(2021年)
11月1日発行
(通巻244号)

●令和2年度決算審査	P4
●審議した主な議案	
市長提出議案	P10
委員会提出議案	P11
●議案の議決結果	P12
●市政について問う	
《一般質問》	P14
●議会活動報告	P23

パ

ンコンを通して広がる輪

新たな学びへのチャレンジを親切にサポート

パソコンなかま



▲わからないことはスタッフがサポート（ゆとろぎ講座室）

「パソコンなかま」は、新たにパソコンを学ぼうとする方やパソコンの技術をさらに進歩させたいという方に、ゆとろぎで講座を行っています。パソコンを通じて市民の皆さんの新たなチャレンジや仲間づくりを支援する「パソコンなかま」の皆さんにお話を伺いました。

「パソコンなかま」とは、

活動のきっかけは

並木 一夫さん（代表）



私は結成当初からのメンバー。初代会長の後を引き継ぎました。現在会員は8人でそれぞれが※ワードやエクセルなど得意分野の講座を担当します。教材は講師の手作りで、月1回作成しています。仲間に支えられて楽しくやっています。

関澤 和代さん



20年前、国の施策の一環で主催のパソコン講習会が開催されました。この講習会のフォローアップをする会として「パソコンひろば」が発足、そのボランティアとして参加したのがきっかけ。その後、パソコンを通して仲間をつくるというこうと名称を変更して「パソコンなかま」が発足し、今に至ります。

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思っています。今回は総務委員会が担当しました。

平林 陽子さん



定年退職して孫の面倒を見ていたが、暇だったので市の講座に参加。良い仲間に恵まれて、パソコンの技術が進歩し、楽しさがわかり、今は初心者の方々にその楽しさを教えています。



▲とてもわかりやすい手作りの教材

【表紙の写真】
（令和3年10月撮影）
徐々に再開したパソコン講座
（ゆとろぎにて）

※写真撮影時のみ、マスクをはずしています。

木内 滋さん



退職して

新しいことをやってみようと思ひ、受講生として

に参加した際に、声をかけてもらったのがきっかけ。エクセルを担当しています。受講生10人に対しスタッフ8人で、その技術に合うよう指導できる場合は、他のパソコン教室ではあまりないと思います。

宇津木 節子さん



市の講座

に参加してパソコンに興味を持ちました。山

に行った時の写真や記録を自分で作ったりしていたら、山の仲間を誘われて入会し、今まで技術を学んできました。山の会の記念冊子や体操の記念誌、同窓会誌など作れるようになります。



▲手がけられた冊子

「何回聞いてもいいですよ」

のスタンスで

並木 緊急事態宣言中は開催できていないが、通常は、4月から11月まではワード中心の講座。そのほか、エクセル、*パワーポイント、インターネットの使い方など、1年間のコースを組んで個々の要望・熟練度に合わせて指導しています。

関澤 講座を受けている方の年齢は、30代〜50代が25%、60代〜70代が75%。男女比は女性が75%くらいです。

宇津木 最近が高齢の方の参加が多く、講座に来ることを楽しみに来てくれています。80歳になって初めて来る方もいて、いくつになってもチャレンジする姿は素晴らしいです。

関澤 自分がパソコンを始めた時、わからないことが多く、娘に何回も聞きました。講座に来る方は不安も多いので、「1回聞いても忘れますよね、みんな一緒です。何回聞いてもいいですよ。」というのが私たちのスタンス。それが「パソコンなかま」なんです。

全員が講師、教える楽しみや

苦労することは

木内 超慎重派の方など、生徒さんの個人差があり、大変な時もあります。意欲のある方や人間的に見習うような方もいて、こちらでも勉強になります。

関澤 アイコンが消えたり、思いもよらない画面になったりしている方がいて、その都度、解決方法を調べて対応しています。

並木 コツコツと家で練習して下さる方もいて、タイピングがどんどん早くなっていき、嬉しいですね。

今後の課題、進む道は

関澤 ワクチン接種の予約など高齢者の皆さんが苦労されている様

子を見て心苦しかったです。緊急事態宣言中は講座を開かないこと

としましたが、何かお手伝いできたのではないかと。これから先、市民に対して何か私たちが取り組めることがあればいいです。

平林 コロナが早く収束してパソコン講座が今までのようにできると思います。

宇津木 OS（基本ソフトウェア）が新しく変わると、それに対応できるように私たちも勉強しないといけないですね。次もあまり変わってないといいのですが。

並木 私は81歳になります。若くないと言いつつも、新しいことを勉強して続けていきたいと思っています。

パソコンなかま

毎週金曜日、午前と午後の2時間ずつ、パソコン講座を行っています。

活動場所 ゆとろぎ講座室

会員 8人

連絡先 042-555-1489 並木

講座は、月4回2,000円。講座の申込みは「ゆとろぎイベントガイド」(全戸配布・隔月発行)をご覧ください。お問い合わせください。

インタビューを終えて

デジタル化の進展に伴い、さらに情報格差が拡大する可能性があり、皆さんのニーズが高まると感じました。仲間が集うことや新たにチャレンジすることが、若返りや人生を楽しくすることにつながるのですね。皆さんの笑顔が会の楽しさを物語っていました。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

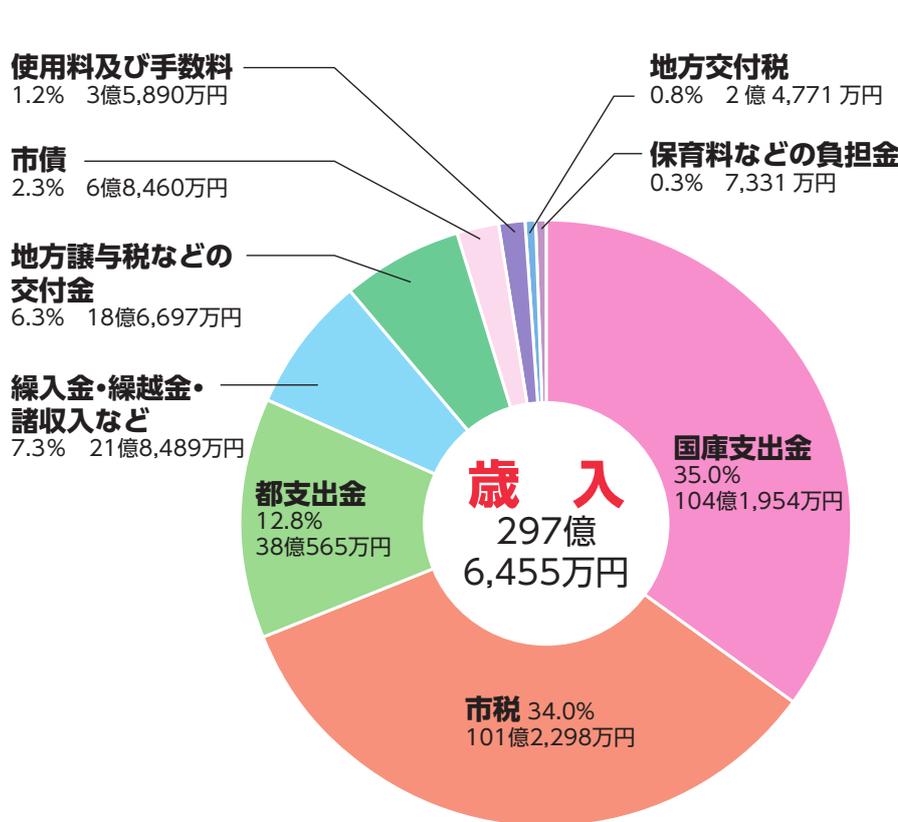
*ワード、エクセル、パワーポイント…マイクロソフト社が提供するソフト

9月21日、22日の2日間にわたり、令和2年度一般会計等決算審査特別委員会を開催しました。（山崎陽一委員長、大塚あかね副委員長）

市長から提出された前年度の一般会計、特別会計および公営企業会計の決算の認定に係る議案について、予算の執行が適正かつ効果的・効率的に行われたかなどを審査しました。

その結果、すべての会計の決算を認定すべきと決定しました。審査結果を、最終日の本会議で報告し、7つの会計すべてを認定しました。

特別委員会での審査の概要をお知らせします。



一般会計

前年度と比較して**28.8%**（66億5803万円）増加

新型コロナウイルス感染症対策に伴う特別定額給付金などの各種補助金が増加

市民税法人分は**45.2%**の減少

景況の悪化が市内企業の業績に影響

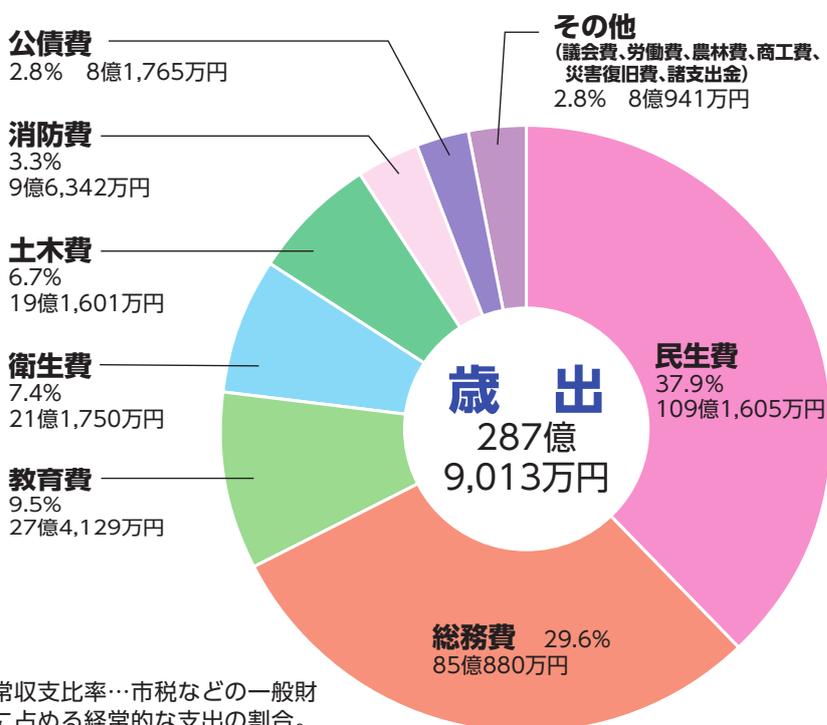
令和2年度一般会計および特別会計の決算状況

（単位：万円）

区分	予算現額	歳入決算額 (実際の収入)	収入率 (予算現額に対する歳入の割合)	歳出決算額 (実際の支出)	執行率 (予算現額に対する歳出の割合)	歳入歳出差引額	
一般会計	3,002,454	2,976,455	99.1%	2,879,013	95.9%	97,442	
特別会計	国民健康保険事業	594,808	578,311	97.2%	560,107	94.2%	18,204
	後期高齢者医療	134,158	134,261	100.1%	131,712	98.2%	2,549
	介護保険事業	395,898	387,487	97.9%	373,419	94.3%	14,068
	羽村駅西口土地区画整理事業	194,252	160,707	82.7%	150,510	77.5%	10,197

過去最大の決算額となる 令和2年度決算を認定

※
経常収支比率が5年連続100%を超え、
厳しい財政運営が続く



前年度と比較して28・0%（63億340万円）増加
新型コロナウイルス感染症の対策費が増加
性質別経費は、扶助費や人件費などが増加
障害福祉サービス費や生活保護費などの扶助費、
会計年度任用職員制度の創設等により人件費が増加

※経常収支比率…市税などの一般財源に占める経常的な支出の割合。
26市の平均は90.6%。



決算認定までの流れ

会計管理者が決算を調製し、市長に提出。

市長は、決算について監査委員の審査を受け、監査委員の意見書を添付して決算を議会に提出。

本会議
議会（9月定例会）
決算審査特別委員会を設置し付託。

本会議
特別委員会での審査結果を本会議で委員長が報告。
委員長報告に対する質疑・討論を経て、会計ごとに採決。

決算審査特別委員会
決算について、収支が適法であったか、正当に執行されたか、予算編成時に期待された行政効果が達成されたか、などを審査。
質疑・討論を経て、会計ごとに採決。

決算認定



委員の質疑

一般会計歳入

Q 市民税法人分は、前年度の7億1404万円から3億9102万円へと前年度比45・2%の減少となっている。業種別の動向は。

A 法人税割の状況は、製造業の税収が一番多いが、大幅に落ち込んだ状況である。次いで、卸売業・小売業、建設業の税収が多い。

Q 市民税法人分が4億円を下回る厳しい状況である。過去に4億円を下回ったことはあるか。

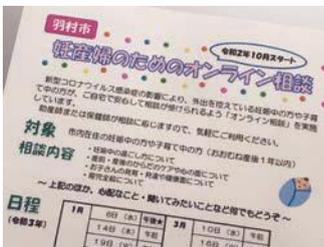
A 直近では下回ったことはない。
Q 市民税法人分が予算の見込み額より下回ったのは、コロナ禍の影響か。



学校に配布された端末



聖火リレートーチの巡回展示



オンライン相談がスタート

A コロナ禍の影響において企業の業績が落ち込んだものと捉えている。

Q コロナ対策として交付された国庫補助金は、市としてどういう視点で活用したか。

A 国の示す「地域未来構想」を参考に、事業者支援、学校のICT化、市民生活支援などに活用した。

一般会計歳出

福祉・健康

Q オンラインを活用した妊産婦相談を23回開催したが、利用者が1人だった要因は。

A 広報等で周知したが、オンラインの利用経験がない方が利用に踏み切れなかったことや、事前予

委員の討論(一般会計)

賛成

限られた予算の中で市民福祉の向上が図られた

GIGAスクール構想の進展、ワクチン接種プログラムの立ち上げ、はむりんスクラッチ2020の発行支援、羽村駅西口土地区画整理事業の着実な進展、オリンピック・パラリンピックの気運醸成、キルギス共和国友好親善事業等の各種事業を限られた予算の中で行い、市民福祉の向上が図られたものと認められるため、賛成。

<新緑会>

反対

予算の問題点があるままであり、決算にも反対

令和2年度予算審査の際、市税が減少するなか、西口土地区画整理事業には前年度比99%増の予算を計上する一方、町内会助成金、敬老金、図書館の書籍費の削減や、道路改修を先送りするなどの問題点や、市民への説明不足を指摘し反対した。コロナ禍への対応に熱心に取り組まれたが、指摘した予算の問題点はそのままであり、決算にも反対。

<日本共産党>

一般会計については、5件の討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

●討論とは…本会議や委員会、表決の前に、議題となっている案件について、賛成か反対の意見を表明することをいいます。

令和2年度の主な事業

【子ども・生涯学習】

- ◆妊娠・出産・子育て包括支援拠点(子育て包括支援センター)の運営
- ◆第二次生涯学習基本計画の策定

【市民生活】

- ◆風水害対策の充実(防災非常用蓄電池、可搬式大型エンジンポンプなどの購入)
- ◆災害時の情報伝達手段の強化(固定系防災行政無線のデジタル化整備工事)

【環境・都市整備関係】

- ◆羽村駅西口土地区画整理事業の推進
- ◆グリーントリム公園の整備

【行財政運営】

- ◆第六次羽村市長期総合計画の策定

【オリンピック・パラリンピック】

- ◆東京2020大会の気運醸成、市民意識の高揚を図る取り組みの推進

約制であったため、即時性にかける部分があったと考える。

Q コロナ禍のもと、生活保護の申請者が減少しているのはなぜか。

A 住居確保給付金など、他制度を活用した市民が多かったためだと考えている。今後、生活保護の申請が増える可能性もある。

Q インフルエンザ予防接種委託料が、大幅に増額しているが、どのような理由か。

A 例年、65歳以上の方に自己負担2500円で接種を行っていたが、東京都が早期接種を促すことを目的に、自己負担分の補助を行ったことにより、接種者が37

50人近く増加したため。

■オリンピック・パラリンピック

Q 東京2020大会の気運醸成について、イベントなどが中止になる中、市民にどのように伝わったと考えているか。

A 事前キャンペーンの誘致は以前から取り組んでおり、2018年、2019年と受入れを実施することができた。また、聖火リレーのリハーサルの実施など、他自治体ではできなかったことを実施し、レガシーづくりのきっかけになったと考えている。

賛成

経常収支比率のさらなる改善と市民福祉の向上を

経常収支比率が5年連続で100%を超え、依然厳しい財政状況にある。その中で、第五次長期総合計画の後期基本計画に掲げた事業を積極的に取り組んできた。全事務事業の点検・見直しをはじめとした行財政改革の取り組みを強力に実行し、経常収支比率のさらなる改善など、財政の健全化に努めながら、市民福祉の向上に取り組んでいただきたい。

<新国会>

賛成

感染症対策や市民・事業者への政策を評価

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症との戦いに開始した年度であり、感染症対策に対するスピード感が問われた一年であった。その中で、市民や事業者のための政策を進め、ワクチン接種の体制づくりを始めるなど、よく取り組んできた。しかしながら、財政状況は依然と厳しく、財政再建を大胆に取り組んでもらいたい。

<公明党>

反対

コロナ禍で市民税は減収、区画整理への支出は反対

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市民税が大きく減収となった。特に法人分は過去最大の落ち込みとなり、個人所得の減少は暮らしの厳しさを浮き彫りにした。事業の見直しは必須であったが、羽村駅西口土地区画整理は最重要課題に位置付けたまま、一般会計から7億2,290万円も支出していて認められない。

<市民ネットワーク>

■安全・安心

Q 道路舗装修繕実施プログラムは令和4年度が完了年であるが、令和2年度の進捗状況は。

A 27・4%である。期間内に100%達成することができないため、今後プログラムの見直しを図って計画を作成していく。

Q 庁舎に設置されているAEDは、どのような判断で購入ではなく、リース契約にしたのか。

A リース契約は、メンテナンスも含めて契約するため、専門業者にパッドやバッテリーの点検をしてもらうことができることから、リースとしている。

■暮らし

Q グリーントリム公園の改修は、

どのようなコンセプトで行ったか。

A 市内には、幼児が遊べるような公園が少ないため、近隣の保育園や幼稚園と意見交換を行い、幼児向けの遊具を設置し、小さな子どもが遊べるような公園とした。

Q 集会施設のトイレ洋式化工事は、どの施設が行われ、洋式化率はどのくらいになったか。

A 中央館、栄会館、三矢会館、小作本町会館、緑ヶ丘会館、小作台東会館、川崎会館、小作台西会館を行い、洋式化率は83%である。

Q 創省エネルギー化助成金の利用状況はどうだったか。

A 前年度43件から61件へと大きく増え、さらに、数件のキャンセル待ちが生まれた状況であった。
Q 市内事業者の受注機会を作ることに、どのように取り組む



市役所に設置されているAED



幼児が遊びやすい公園へ改修(グリーントリム公園)



学校に導入したタイムレコーダー

委員の討論(国民健康保険事業会計)

反対

保険税の負担が重すぎる、安心してかかれる医療を

国民健康保険税は今回の改定で一層引き上げられた。両親40歳以上、子ども2人の年間所得200万円の4人世帯では、保険税は28万8,700円から30万400円に、1万1,200円値上げされ、所得の15%にのぼり、負担が重すぎる。都道府県知事会も国保税は高すぎると国に1兆円の補助をすべきと要請した。以上の理由で決算の認定にも反対する。

<日本共産党>

■教育

A 市内業者優先の指名基準を規定している。各担当が物品調達する場合は、まず市内業者に見積もりを取るよう取り組んだ。

Q GIGAスクール構想の実現に向け、オンライン授業を行うための体制づくりをどう取り組んだか。

A 令和2年度は、一人一台端末と校内ネットワークの整備をするなど学習環境を整えることに注力

した。また、学校での活用方法については、先生方に検討していただいた。

Q 各学校へのタイムレコーダーの導入により、教員の働き方が変わったことがわかるような実績を報告するべきでは。

A 教員の残業時間などの実績報告は、毎月校長会で行っている。事務報告書への掲載は、今後検討していく。

特別会計 歳入・歳出

■後期高齢者医療会計

Q 都内の住所異動に住所地特例制度がないことによる、区市町村間の財政的な不均衡を回避するための区市町村支援事業補助金が創設されたが、不十分と考える。今後の取組みは。

A 補助金により一定の改善はされたが、不均衡が完全に解消されただけではないので、今後も他市町村と連携を図り、国へ制度改革の要望を続けていく。

■介護保険事業会計

Q フレイル予防体操教室や認知症予防後援会などコロナ禍でも参加者が増えているが、希望者全員が受けられているか。

A 申し込みした方は全員参加できている。感染予防対策をしっかり行い事業を開催した。

■西口土地区画整理事業会計

Q 令和2年度に建物移転した件数とエリアは。

A 川崎地区が3棟、羽村大橋周

辺が33棟の36棟であり、全て再築工法で行った。

■水道事業会計

Q 耐震性の向上を図るための配水管布設替え工事と管種替え工事について、令和元年度と比較して令和2年度の耐震性の割合は。

A 耐震性を満たす水道管路の割合は、令和元年度が23・3%、令和2年度は24・3%である。

■下水道事業会計

Q 令和2年度に策定した「下水道ストックマネジメント計画」は。

A 汚水管やマンホール蓋の更新について、長期的な視野で計画的に点検、調査、補修し、財源の平準化をはかり、適切な維持管理を行っていくための計画としている。

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。

インターネットで会議録をご覧ください。

なる場合は、

「羽村市議会」

↓「会議録の検索と閲覧」

↓「令和2年度一般会計等決算審査特別委員会」

委員の討論(羽村駅西口土地区画整理事業会計)

反対

多額な市費を投入する事業は、即刻検証すべき

広い道路を造るため、1000棟を取り壊す区画整理は戦時中の「建物強制撤去」と同じで権利者が苦しんでいる。事業費16億円は、前年度の1.7倍である。東京都都市づくり公社への高額な委託料に加え、厳しい財政状況にも関わらず、事業の前倒しで年間市費を10億円、1日あたり300万円を垂れ流すこの事業は、前市長の遺物である。即刻検証を求めて決算に反対。<世論>

賛成

市の将来にとって重要な事業、着実な推進を

令和2年度の西口土地区画整理事業会計の根幹となる業務委託費を見ると、補助金を可能な限り活用し、市民負担軽減が図られていることが伺える。西口土地区画整理事業は、さまざまな視点から羽村市の将来にとって大変重要な事業である。厳しい財政状況下においても優先順位をつけ、着実に事業を推し進めていく必要があると考える。

<新公会>

国民健康保険事業会計、羽村駅西口土地区画整理事業会計にはそれぞれ討論がありました。その他の会計については、賛成・反対の討論はなく、全会一致で認定すべきと決定しました。

議案審議

■第6回定例会（9月）に市長から提出された議案は、決算認定7件、条例に関する議案2件、補正予算案件6件、専決処分の報告4件、その他の議案6件合わせて25件を認定・可決・修正可決・承認・同意しました。

■審査した陳情1件は、不採択となりました。
主な議案の概要は次のとおりです。



取水堰付近から見た多摩川上流方向

市長提出議案

■市の総合的かつ計画的なまちづくりの指針を修正可決

羽村市基本構想

【主な内容】

現在の羽村市基本構想の計画期間が令和3年度で終了することから、令和4年度を初年度とする新たな羽村市基本構想を策定するものです。

【議決結果】 修正可決

修正案の提出

羽村市基本構想審査特別委員会を6日間にわたり開催し、「羽村市基本構想」の審査を行いました。

その結果、委員から修正動議（修正案）が提出され、採決の結果、全会一致で修正案を可決、修正部分を除く原案を可決しました。

特別委員会の審査結果を本会議で委員長が報告し、採決の結果、修正可決されました。

【主な修正案の内容】

「まちづくりで大切にしたい」

において、格差の拡大などの社会問題の視点を取り入れ、「一人ひとりを大切にすると」という新たな項目を追加しました。また、その他の一部の項目について、説明文等の文言の修正、追加を行いました。

「未来を築く5つのコンセプト」

および「自治体運営の方針」について、時代の流れや自治体を取り巻く状況などをさまざまな観点から審査し、文言の修正、追加を行いました。

修正動議とは・・・？

市長から議会に提出された議案は、本会議および委員会で審議・審査されます。議員（委員）は必要に応じて修正案を提出することができます。

その修正の提議を行う時は案を備え、「修正動議」（修正案）を提出することとなります。



■教育長の任命に同意

教育委員会教育長の任命について

教育委員会教育長の任期満了に伴い、桜沢修氏を教育長に任命することについて、議会の同意を求めめるものです。

【任期】 令和3年10月1日～令和6年9月30日

【議決結果】 原案同意

■情報提供ネットワークシステムの設置・管理者を内閣総理大臣に変更

羽村市個人情報保護条例の一部を改正する条例

【主な内容】

デジタル庁の設置に伴い、関係法令が一部改正され、情報ネットワークシステムの設置・管理者が総務大臣から内閣総理大臣に変更されたことに伴い、条例を改正するものです。

【議決結果】 原案可決

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継（9月14日・9月30日分）をご覧ください。

質疑

Q 情報提供等記録を訂正した旨の書面の送り先が総務大臣から内閣総理大臣に変更されたが、新たなネットワークシステムを作るのか。
A 情報提供ネットワークシステムは既存のシステムであり、改めてシステム自体を変更するものではない。

討論

反対 今回の条例改正の根拠となる、デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律は大問題であり反対、条例改正にも反対。
 （市民ネットワーク）

反対 個人情報保護の内容を変えざるものではないが、デジタル庁設置法の施行に伴う改正であり、今後さらなる変更が予想される。デジタル法、デジタル庁設置法に反対する立場から条例改正にも反対。
 （世論）

委員会提出議案

■意見書を可決しました

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(抜粋)

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地方財政は、来年度も巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応や地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、社会保障関係経費などの財政需要に見合う財源が求められる。その財源確保のため、令和4年度地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう、強く国に要望する。

(1) 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。

(2) 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは断じて行わないこと。現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。

(3) 令和3年度税制改正において固定資産税について講じた、課税標準額の負担調整措置は、令和3年度限りとする。

(4) コロナウイルス感染症の状況に対応するために、税の軽減措置等を行う場合は、地方自治体から意見を聴取し、地方自治体の減収につながる方法によること。

(5) 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は行わないこと。

(6) 炭素に係る税を創設又は拡充する場合は、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

【提出先】 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・内閣官房長官・総務大臣・財務大臣・経済産業大臣・経済再生担当大臣

【議決結果】 原案可決

■市長提出議案の議決結果

<全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果	件名・概要	議決結果
専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例〕 関係法令の一部改正に準じ、条例の一部を改正する必要があるため、専決処分したため、議会の承認を求める。	承認	令和3年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ1億8,203万3千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ60億8,533万3千円とする。	原案可決
専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例〕 関係法令の一部改正に準じ、条例の一部を改正する必要があるため、専決処分したため、議会の承認を求める。		令和3年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ2,932万3千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ13億5,172万3千円とする。	
専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例〕 関係法令の一部改正に準じ、条例の一部を改正する必要があるため、専決処分したため、議会の承認を求める。		令和3年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ1億4,067万8千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ40億917万8千円とする。	
専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例〕 関係法令の一部改正に準じ、条例の一部を改正する必要があるため、専決処分したため、議会の承認を求める。		令和3年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ1億196万9千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ16億6,596万9千円とする。	
専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例〕 関係法令の一部改正に準じ、条例の一部を改正する必要があるため、専決処分したため、議会の承認を求める。		令和3年度羽村市水道事業会計補正予算(第1号) 水道施設の改良工事として、鳩胸児童遊園前の市道第5048号線に配水管を布設する工事を行う必要があるため、資本的支出の建設改良費の増額を行う。	
専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例〕 関係法令の一部改正に準じ、条例の一部を改正する必要があるため、専決処分したため、議会の承認を求める。		令和2年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和2年度未処分利益剰余金、3億2,045万4,246円のうち、1億6,147万9,019円を減債積立金に積み立て、1億5,897万5,227円を資本金に組み入れる。	
羽村市児童遊園条例の一部を改正する条例 鳩胸児童遊園の用地返却に伴い、鳩胸児童遊園を廃止する。	原案可決	市道路線の認定について 宅地開発事業により設置された道路を「市道第5177号線」「市道第6177号線」として新たに認定する。	原案同意
羽村市基本構想 P 10 参照	修正案可決 修正部分を除く原案可決	教育委員会教育長の任命について P 11 参照	
令和3年度羽村市一般会計補正予算(第6号) 歳入歳出それぞれ15億950万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ241億1,020万円とする。	原案可決	教育委員会委員の任命について 教育委員会委員の任期満了に伴い、永井英義氏を任命したいので、議会の同意を求める。 【任期】令和3年10月1日～令和7年9月30日	
		損害賠償額の決定について 売却した市有地の宅地造成工事において、土地を掘削したところ、コンクリート塊、アスファルト塊等の廃棄物が発見され、土地所有者に損害を与えた事故に対する損害賠償額を決定するもの。	原案可決

<賛否の分かれた議案>

件名・概要	会派名(数字は人数)								議決結果
	緑	公	令	共	新	ネ	世	自	
	(4)	(4)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	
羽村市個人情報保護条例の一部を改正する条例 P 11 参照	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決

<令和2年度決算認定の議決結果>

件名	会派名 (数字は人数)								本会議での議決結果
	緑	公	令	共	新	ネ	世	自	
	(4)	(4)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	
一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	×	×	○	認定
特別会計									
国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	
後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入歳出決算	○ ×	○	○	×	○	×	×	○	
水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
下水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	

■陳情の審議結果

件名	審査した委員会	会派名 (数字は人数)								本会議での議決結果
		緑	公	令	共	新	ネ	世	自	
		(4)	(4)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	総務委員会	×	×	○ ×	○	×	○	○	×	不採択

■委員会提出議案の議決結果

件名	提出した委員会	本会議での議決結果
羽村市議会会議規則の一部を改正する規則	議会運営委員会	原案可決
羽村市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例		
コロナ禍による厳しい財政状況に対し、地方税財源の充実を求める意見書 P 11 参照	総務委員会	

凡例

■各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成 ×…反対
 ■会派名 ■ 陳情 / ○…採択 ×…不採択

緑…新緑会 公…公明党 令…令和かがやき 共…日本共産党
 新…新政会 ネ…市民ネットワーク 世…世論 自…自由民主党創生

会派名簿

新緑会 さくらざわ やすし 櫻沢 康 かじ まさあき 梶 正明 たかだ かずと 高田 和登 はまなか としお 濱中 俊男	公明党 なかじま まさる 中嶋 勝 とみなが のりまさ 富永 訓正 にしかわ みさほ 西川美佐保 いし いひさお 石居 尚郎	令和かがやき おおつか 大塚あかね はせひら こうぞう 馳平 耕三 みずの よしひろ 水野 義裕	日本共産党 はまなか じゅん 浜中 順 すずき たくや 鈴木 拓也	新政会 あきやま よしのり 秋山 義徳 とみまつ たかし 富松 崇	世論 やまざき よういち 山崎 陽一
市民ネットワーク ちんま ひでこ 門間 淑子		自由民主党創生 いん なみ しゅうた 印南 修太			

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

一般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。

第6回定例会では、

9月7日、8日、9日の3日間にわたり

17人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。



踊子草公園

《Q》防災行政無線のデジタル化はいつ完了するか

《A》工事がすべて完了するのは今年度末になる



高田 和登 議員（新緑会）

防災全般について

質問 防災行政無線の工事が完了し、アナログからデジタルに変更されるのは、いつからか。

市長 今年度末に完了する予定であり、工事がすべて完了するまでは両波を使用した運用となる。

質問 防災行政無線を聞き損ねた場合、フリーダイヤルや市役所の内線888で複数回の再生を可能とする必要があるのでは。

市長 防災行政無線のデジタル化後は、放送後24時間以内であれば、複数件の内容確認が可能となる。

質問 市民から、市内のホテルと災害時における協定



デジタル化整備工事中の防災行政無線
(左：デジタル化後 右：デジタル化前)

を結んでおくべきとの提案があり、検討すべきでは。

市長 平成30年度に市内3か所のビジネスホテルと協定を締結している。

質問 消費者庁が賞味期限を過ぎた備蓄品を活用するモデル事業を開始するが、羽村市ではどうか。

市長 従来から食品ロスの回避に努めているが、消費者庁のモデル事業についても注視していく。

生涯学習教育の充実について

質問 ゆとろぎのインターネット回線の増強を検討すべきでは。

教育長 WiFi環境の改善と通信環境の充実に努めていく。

質問 生涯学習部が主体となってやさしいスマートフォン体験講座を継続的な講座に発展できないか。

市長 市民の関心も高く、今後も継続していく考えであり、より充実した事業として実施できるよう検討する。



《Q》他自治体のように、市での害獣対策支援への取組みを
《A》市民が安全に生活できる環境の形成に努める



富永 訓正 議員（公明党）

害獣対策について

他自治体のように、アライグマやハクビシンなどの害獣対策支援を。

質問 都や国の補助制度等を活用し、市でも財政的、技術的な支援をしては。

市長 対策を実施の自治体を参考に害獣対策への方針を定め、市民が安全に生活できる環境の形成に努める。
通学・歩行者の安全確保を

通学路等の危険箇所を子ども目線で徹底的に点検・調査し、安全対策の前進を。
質問 これまでも毎年度、PTAや地域、幼保関係団体により通学路などの安全点検が行われ、改善点や要望が挙げられてきた。これ



アライグマとハクビシン
東京都の外来種対策マニュアルより抜粋

までと、今後の取組みは。

市長 要望を踏まえ安全対策を講じてきた。今後も適切な対応を図っていく。

質問 民間所有を含め、危険なブロック塀の状況と、安全対策への取組みは。

市長 公共施設のブロック塀は改修工事を行い、安全対策を図っている。民間のブロック塀は、生け垣に替える助成制度を推進する。今後も安全への意識醸成を図る啓発活動に努める。

特定健診、がん検診の受診者増と健診内容の充実を
市民の健康を守るためにも、多くの方の受診の推進を。

質問 市での胃がん検診はバリウム検査のみだが、一部負担等の条件を定め、内視鏡検査も選択可能とする検討をしてはどうか。

市長 内視鏡検査も国の指針に追加された。今後の研究課題とする。



《Q》フードバンクが市内で立ち上がったが、市の支援は
《A》効果的支援について検討していく



西川 美佐保 議員（公明党）

子ども食堂と
フードバンクについて

8月には市内で4カ所目の子ども食堂がオープン。9月にフードバンクが設立された。平成28年12月定例会で、子ども食堂やフードバンクなど質問し、その後の状況を伺う。

質問 誰もが利用できる「子ども食堂」にどのような支援ができるのか。

市長 それぞれの運営形態、活動内容等が異なっており、市でどのような支援が可能か検討する。

質問 以前の議会で「子ども食堂と学習支援を行って」の質問に、「学習支援を検討する」との回答だった

質問 以前の議会で「子ども食堂と学習支援を行って」の質問に、「学習支援を検討する」との回答だった



ふじみ子ども食堂のボランティアの皆さん

だが、その後の状況は。

市長 市では、平成29年度から、毎週中学生を対象に学習・生活支援事業を実施。本年利用者8人。利用者数は延べ56人である。

質問 フードバンクは、少しでも食品ロスを減らし、必要な人につなげる役割があるが、市はどの部署と連携し、どのような支援ができるのか。

市長 連携は環境部門や福祉部門等で、食品ロスの低減や生活困窮者支援の両面から、民間団体の自立的な活動を促進し、効果的な支援を検討する。

2050年のカーボンニュートラルの実現を

質問 国として推進する事業であり、創省エネルギー化助成は予算の増額や見直しを。

市長 効果的な制度となるよう補助単価の見直し等を検討する。



《Q》市はどのように行政サービスに取り組むか

《A》不安を安心に変えていただけるよう職員育成に努める



石居 尚郎 議員（公明党）



温もりのある行政サービスの提供を（羽村市役所）

質問 ワクチン接種の対応をはじめ感染症対策に対して、大局観に立った指揮系統のもと、効率的な運営を

組織強化を

感染症対策における 職員の育成に努めていく。

市長 新体制となった羽村市は、どのような姿勢で行政サービスに取り組むのか。市長 市職員として、これまで以上に、市民の皆様へ寄り添った親切・丁寧な対応が必要である。コロナ禍などによる不安を抱えて、来庁した市民の皆様が、お帰りになる際には、不安を安心に変えていただけるよう、職員の育成に努めていく。

コロナ禍だからこそ温もりのある行政サービスを

進めるためにも、組織の強化・連携が必要ではないか。

市長 現状の状況を的確に見極め、引き続き、私をトップとする、羽村市新型コロナウイルスウイルス感染症対策本部における明確な指揮命令系統による対策のもと、情報の共有化を図り、関連部署の連携を強化し、柔軟かつ、迅速に対策を講じていく。

備えについて

一昨年の台風第19号の教訓を踏まえて何点か質問した。

質問 清流地区における、あきる野市との実効性のあたる災害協定は締結されたか。

市長 あきる野市と協議を続けているが、現時点では、協定の締結には至っていないので、早期に締結できるように、取り組んでいく。

■その他の質問
「介護保険制度の適切な運用について」



《Q》弁当配食サービスを実施すべきでは

《A》アレルギー対応など、課題を整理した上で検討していく



富松 崇 議員（新政会）



ボランティア活動で児童クラブを清掃する商工会青年部

質問 児童クラブへの待機児童はいるのか。

市長 令和3年度当初の児童クラブの待機児童は、全体では、定員に余剰があるものの、富士見児童クラブで待機児童が発生している。

質問 市内小・中学校は令和2年3月3日から5月31日まで臨時休業を実施した。児童クラブは、利用時間を拡大して開所し、学校給食が再開されるまでの間、羽村市商工会が一定期間、市内事業者の就業支援の観点から弁当配食サービスを実施した。その時の利用状況は。

市長 9日間で、延べ272件あった。また、利用した保護者の皆様からは感謝の言葉を多くいただいた。

た保護者の皆様からは感謝の言葉を多くいただいた。

質問 市内事業者の就業支援、保護者の負担軽減、市内飲食業の経済効果の3つの観点から商工会と連携し、弁当配食サービスを実施すべきだと考えるがどうか。

市長 市内飲食業の支援、市民の皆様への利便性向上等に繋がることから有効な事業であると認識している。児童クラブへの弁当配食については、食物アレルギーへの対応や、児童の家庭環境の違いなど、実施にあたっては課題もある。他自治体での実施状況や保護者の皆様のニーズを把握するとともに、羽村市商工会を交え課題を整理した上で、実施について検討していく。

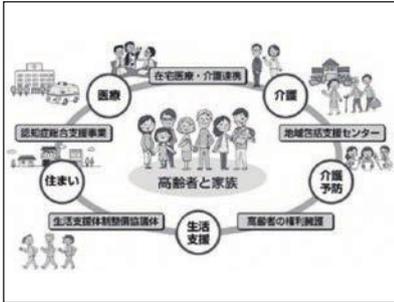


《Q》在宅介護家族への支援強化を！

《A》関係機関と連携し迅速に支援に取り組む



大塚 あかね 議員（令和かがやき）



地域包括ケアシステム (羽村市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画より)

コロナ禍での在宅介護・高齢者の生活を
どのように支えていくのか

質問 同居家族にやむを得ない事由が発生し、要介護者が介護を受けることができなくなった場合のために、市が受入先を確保しておく「緊急ショートステイ事業」を行うべきではないか。
市長 入所先が見つからない時は、市が関係機関と連携し、入所の支援を行っていくこととしている。

質問 コロナ禍にあり、介護する家族の負担が増し、虐待増加が懸念されている。家族への支援を充実していくべきではないか。
市長 虐待が増えている

状況にはないが、地域包括支援センターや関係機関と連携し、支援に取り組んでいく。

質問 「敬老のつどい」について、今後の開催方法等について伺う。

市長 羽村市高齢者クラブにアンケート行い、継続希望の方は約54%。アフターコロナも見据え、開催方法等の検討を進めていく。

職員の「心の健康調査」について

総務省は全国自治体に職員の心の健康調査を行った。市の実態と職場の環境整備等について伺う。

質問 昨年度、心の健康不調により、1週間以上休んだ職員数は何人か。
市長 9人である。

質問 職場環境改善にどのような取り組みでいくか。

市長 ICT活用による業務の効率化や事務事業見直しを進めながら良好な職場環境づくりに取り組んでいく。



《Q》「検証」終了まで、新たな家屋移転は停止すべきでは

《A》委託契約した事業範囲は着実にすすめる



鈴木 拓也 議員（日本共産党）



建物移転した区画整理地区

西口区画整理の「検証中」は新たな工事を中止すべき
質問 なぜ令和5年度までの工事は、予定通り続けるのか。
市長 仮住まい中の方や、交渉中の方に不利益を生まないためである。

質問 これまで移転した建物数は。令和5年度にはいくつになるか。
市長 令和2年度末までは136棟であり、令和5年度までは285棟の見込み。

質問 「検証」の終了まで、新たな家屋移転の手続きは停止すべきでは。
市長 委託契約した事業範囲は着実にすすめる。

質問 「検証」にむけ、権

利者への一斉アンケートを行うべきでは。
市長 客観性をもつ第三者委員会で検証を行うので、考えていない。

コロナ禍の下、経営・くらしの状況はどうか

質問 市内企業の景況は。

市長 製造業では、受注の不安定さなどで厳しい。建設・不動産業は、資材の高騰などで予断を許さない。商業では、来店客の減少などで大変厳しい状況である。

質問 事業者への新たな支援が必要では。
市長 「事業者応援事業助成金」の増額予算を提案するなど支援策を講じてきた。

質問 市民のくらしの状況はどうか。
市長 給与所得者の減少、失業率の上昇などに、コロナの影響があらわれている。

質問 くらしへのさらなる援助が必要では。
市長 ニーズや必要性を見極め、適切な支援をしていく。



《Q》行政への不当要求には毅然とした態度と組織で対応を

《A》苦情等対応マニュアルに基づき組織的に対応している



馳平 耕三 議員（令和かがやき）

行政への不当要求、

行政対象暴力には毅然とした態度と組織で対応を

質問 行政への不当要求等の件数は把握しているか。

また、増加しているか。

市長 統計的な件数は示せないが、窓口において大声で強い口調により罵倒される等の事例は発生している。

質問 不当要求、行政対象暴力には、個人ではなく、組織で対応しているか。

市長 苦情等対応マニュアルを策定し、組織的に対応することとしている。

質問 職員に不当要求等についてアンケートを取ったことがあるか。

市長 実施していない。



安全対策として窓口にさすまをを設置

質問 公益通報制度が組織や職員を守るということは理解されているか。

市長 内部通報は正当な行為として不利益な取扱いから保護されるべきである。

組織にとってもリスクの早期把握および自浄作用の向上に資すると捉えており、適切に対応することが重要であると考えている。

質問 不当要求等の記録はどのように、どのくらいの期間保存されているか。

市長 不当要求等の事案が発生した場合、相手の言動等を詳細に記録することが必要となる。個人情報保護の観点から、その活用については、適正かつ慎重に判断する。また、記録は各所管が作成し、適切に保存しているが、事案により保存年限は異なる。

■その他の質問
「日本のポータルランドを目指して住民参加のまちづくりを」
「枠配分方式の予算編成をどう評価しているか」



《Q》コミュニティ交通の広域連携の可能性はどうか

《A》利便性向上の観点からも検討する意義がある



秋山 義徳 議員（新政法）

コミュニティバス

「はむらん」のさらなる

発展について

質問 「はむらん」運行ルートで、青梅市立総合病院や箱根ヶ崎駅の延伸を検討した事があるか。

市長 青梅市立青梅総合病院へは、JR青梅線小作駅から路線バスが運行されており、箱根ヶ崎駅への運行ルートも、複数の既存バス路線が確保されている。いずれについても、現時点では運行ルートとして、設定は予定していない。

質問 コミュニティ交通は、各市町村が独自に取り組んでいるが、利便性向上の観点から広域連携の可能性に

ついて市はどう考えるのか。

市長 住民の利便性向上の観点からも検討の意義がある事と捉えている。今後、隣接自治体間で情報共有する中で、市域外の新たな運行ルート設定や、バス停共有による乗り継ぎ等について調査・研究に努める。

質問 今後、高齢化が進むと地域のコミュニティ交通が重要になると考える。利便性を高め、市民の満足度の向上のため、市は、今後のコミュニティ交通のさらなる発展について、どうする事が必要と考えるか。

市長 利用の中心となる高齢者の利用状況把握に努め、必要に応じ、運行ルートの見直しや、時刻改正等を検討する。また、設備の更新など、利便性向上にも努める。



コミュニティバス「はむらん」



《Q》区画整理事業の検証は進んでいるか

《A》委員会構成など検討中。会議、議事録は公開する



山崎 陽一 議員（世論）



「区画整理事業・検証」への期待は大きい

区画整理撤回要求第57弾
質問 事業検証は進んでいるか。

市長 第三者委員会の構成等の情報を収集中。委員会の会議、議事録は公開する。検証結果を踏まえて、その後を検討する。

質問 検証前に事業を進めてはならない。「着手地区の整備は進める」とは。

市長 令和5年度までの委託地域は計画通り進める。後は議会の議決が必要。

質問 2021年度の移転補償交渉地域はどこで、何棟、移転年度はいつか。

市長 川崎一丁目、羽村大橋周辺。移転は33棟の予定。翌年度移転予定の建物補償

調査は42棟である。

質問 都市計画道路3・4・12号線の敷地内からの玉突き移転は何棟か。

市長 移転は58棟である。

質問 第3回事業計画変更はいつ着手し、なぜ変更か。東京地方裁判所の「事業計画変更の違法、取り消し判決」に対し、控訴はなぜか。

市長 平成27年度から期間や資金などを見直した。判決内容が容認できず取消しを求めている。

質問 事業市費は年12億円が目安というが、都市計画税からは4億円が限度では。

市長 事業市費年平均9億9千万円。不足分は市債を活用する。

質問 「集団移転の範囲を広げると、数年で事業を完了」という。その根拠と、反対への対応は。

市長 「拡大し工事を効率的に進めると期間が短縮できる」の意味。権利者の理解、協力をいいたいく努力を重ねる。



《Q》新型コロナのワクチン接種のスピードアップは？

《A》11月末までに希望する市民の2回接種完了へ取り組む



浜中 順 議員（日本共産党）



ワクチン接種会場のスポーツセンター

新型コロナのワクチン接種のスピードアップを

質問 ワクチン接種のスピードアップへ予定はどのようなっているのか。

市長 11月末までに希望する市民が2回接種できるよう取り組む。

質問 羽村市は近隣市町村に比べて接種が遅れていると報じられているが。

市長 9月6日現在で、1回接種率が56・9%、2回接種率が44・2%となっており、近隣の自治体の接種率と大きな差はない。

羽村駅西口区画整理事業は、住民の必要性と財政力とに見合ったもの

質問 「移転を望まない者にとっては減歩や清算金

上に、今後固定資産税は上がりかねないなど負担が大きすぎる」「二度の引っ越し、仮住まい、建て替えが生活を壊す」など住民の声を前向きに受け止め、今後のまちのビジョンとその見直し、必要性、メリットをどのように検証しようとしているのか。

市長 関係権利者の声は、丁寧に向う必要があると認識している。事業の検証は、第三者委員会において行っていく考えであり、個別の意見を伺うことは現時点では考えていない。

気兼ねなく冷房が使えるように、生活保護者などに電気代の支給を

質問 冷房用電気代を国から支給されるまでは、市は対策を立てるべきでは。

市長 市が夏季の光熱費を独自に支給することは難しい。



《Q》いわゆる特定空き家は何件か

《A》倒壊の危険など、特定空き家に該当するものはない



櫻沢 康 議員（新緑会）

令和4年度

予算案策定にあたって

歳入の見込み、羽村駅西口土地区画整理事業の計画について

質問 「特定空き家」に該当する土地は何件か。

市長 平成28年度から29年度にかけて空き家の実態調査を実施し、約250件の空き家を把握しており、そのうち「特定空き家等」に該当するものはない。

質問 羽村駅西口土地区画整理事業により固定資産税が減免されている土地は何件あるか。その見込み金額は。

市長 免除の対象は納税義務者であることから、令和3年7月時点では、納税義務者数39人、総額は、土地および建物を合わせ、約900万円である。



羽村大橋周辺の整備

質問 都市計画道路3・4・12号線について開通はいつ頃か。

市長 羽村大橋東詰交差点から新奥多摩街道までの区間は令和6年度、新奥多摩街道から東部踏切までの区間は令和11年度を目標に、順次、用地空け並びに、平面部の整備を完了する計画としている。

質問 羽村駅西口土地区画整理事業を都市計画道路3・4・12号線の開通のみで中止した場合、都市計画税が減税されるのではないか。

市長 税率を引き下げれば、必然的に市民の税負担は軽減されるが、同時に、都市基盤整備事業の実施により市民が得られる利便性の向上や経済効果などの事業効果が得られなくなる。

■その他の質問
「コロナ感染情報について」



《Q》29歳以下のワクチン接種も急ぐべき

《A》12歳以上の予約を9月6日から開始した



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）

コロナ対策の

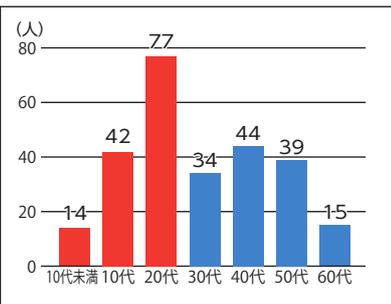
情報発信は迅速に

質問 新型コロナウイルス感染防止のためには29歳以下のワクチン接種も急ぐべきではないか。

市長 9月6日から12歳以上の予約を開始した。10月からはワクチンの安定供給が見通しが立ったので、1時間あたりの接種人数を増やす予定である。11月末までに、希望する全ての市民の2回接種が完了するよう取り組んでいく。

質問 外国籍の市民への情報は漏れなく伝えられ、接種につながっているか。

市長 市の公式サイトは多言語対応となっており、



羽村市の年齢別新規患者数（8月）
※広報はむらより、60代までを抜粋

「広報はむら」も外国語訳を作成している。希望する方々が接種できるよう周知に努めていく。

質問 ワクチンの供給量や接種状況など、迅速な情報発信が必要ではないか。

市長 供給量の正確な把握は困難であり公表する予定はないが、接種率は公式サイトで公表している。

「水はむら」は廃止し

環境都市を目指そう

質問 飲料業界でもプラスチック削減が進んでいる。「水はむら」は廃止してマイボトル運動を積極的に推進し、環境都市を目指してはどうか。

市長 環境に配慮した容器の調査研究や、変更した場合の販売店の需要等の検証を行い、年度内を目標に今後の方向性を判断していく。

■その他の質問
「羽村駅西口土地区画整理事業は抜本的に見直しを」



《Q》防犯カメラ増設に対する市の考えと計画は

《A》今後も必要に応じて設置していきたい



梶 正明 議員（新緑会）

安全で安心して暮らせる
まちづくり施策

防犯カメラについて
質問 市が設置している防犯カメラの状況は。

市長 現在、市内には、駅周辺等に設置している街頭カメラが25台、通学路に設置しているカメラが12台の計37台である。

質問 防犯カメラ増設に対する市の考え方と計画は。

市長 市内における防犯カメラの設置は、防犯上、有効な対策の一つと認識している。要望などを考慮し、福生警察署をはじめ関係団体などの意見を取り入れ、今後にも必要に応じて設置していきたい。

市民パトロールセンター

はむらについて
質問 隊員の高齢化とともに新規隊員の確保が難しいなど、活動面の影響が始まっている。市は課題を把握し、運営等の支援を考えているか。

市長 市では、市民パト



パトロール活動を行う隊員

ールセンターはむらの運営費を補助しているほか、青色回転灯パトロール車によるパトロールを委託するなど、連携したさまざまな取り組みを進めている。また、意見交換の中で、隊員の高齢化や、新たな隊員となる方がいないなどの課題の共有を図り、市民活動情報紙「きずな」での活動紹介や、広報はむらへの隊員募集記事の掲載など、隊員確保の支援を行っている。引き続き、人材確保や運営支援に努め、将来的には、自立した運営が行えるよう支援をする。



《Q》消防団配備のポンプで排水できないか

《A》検証し内水氾濫の対応強化を図る



印南 修太 議員（自由民主党創生）

羽村市の
風水害対策について

質問 消防団配備のポンプを一部「雨乞街道」に配置し、宮の下グラウンドに排水できないか。

市長 ポンプを配置する場所や排水ホースの距離、高低差などを考慮した検証を行い、内水氾濫の対応強化を図っていく。

質問 風水害対策用の防災ウェルダー等の装備品を配備できないか。

市長 消防団員の意見を伺いながら、必要に応じて配備を進めていく。

質問 平日に風水害が発生した際に、出動できる消防団員が少ない可能性も想定



昨年実施された内水氾濫対応訓練

し、地域の建設業などの関係機関との協力体制を強化してはどうか。

市長 市では、「羽村市建設防災協力会」や、「東京土建一般労働組合西多摩支部」と「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結し、災害時における資機材や人員の応援などの体制を整えている。引き続き、水防訓練や防災訓練を通じて、連携・協力体制の強化・充実を図っていく。

質問 消防団員獲得のために、消防団活動のPRをさらに増やしてはどうか。

市長 消防団は、地域に密着した「地域防災力の中核」として、極めて重要な役割を担っているが、全国的に団員数の減少が著しく、羽村市においても消防団員の確保が課題となっている。今後は、PR動画の作成等についても検討し、安定的な団員の確保に努めていく。



《Q》オリンピックなどの小・中学生への教育は

《A》オリンピックなどの講演会などを行った



濱中 俊男 議員（新緑会）



パラリンピック聖火（羽村市の火）の採火

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について

質問 東京都の立候補についてはどう聞いているか。

市長 2011年の知事表明より取り組み、2013年のIIOC総会で東京が当選した。

質問 市担当課の活動状況は。

市長 「事前キャンプ誘致・受入れ事業」「気運醸成事業」「聖火リレーに関する事業」「ホストタウン関連事業」「障害者スポーツ振興事業」などを実施した。

質問 小・中学生にどう教えていたのか。

教育長 「ボランティアマイ

ンド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の五つの資質について、体験学習などに取り組んだ。

キルギス共和国との友好親善について

質問 ホストタウンの活動内容は。

市長 事前キャンプ受入れや、交流事業を実施した。

質問 今後の親善計画は。

市長 市民同士の交流などを促進し、市民主体で実施できるように、後押しをしていきたい。

危機管理について

質問 危機管理課を廃止したのはなぜか。

市長 平成24年に設置したが、災害発生時等に即応するため平成31年に防災安全課に統合した。

質問 再設置の検討は。

市長 現時点で考えはないが、多様化する市民ニーズに的確に対応するための見直しを常に行っていく。



水野 義裕 議員（令和かがやき）

《Q》換地設計変更の理由は

《A》住宅再建・土地利用に支障が生じないように



羽東二丁目周辺の整備

羽村駅西口
土地区画整理事業について

質問 令和5年度までの計画で、検証に影響のある部分はストップすべきではないか。また、この事業は、スタート時点から進め方が間違っていたのではないか。

市長 令和2年度から令和5年度までの4年間の事業範囲については、すでに移転にご協力いただいている関係権利者の皆様の仮換地を確保する必要があることなどからも計画通り進めていく考えであり、第三者委員会での検証を踏まえ、今後の事業の方向性を導き出して行く。

質問 最近、換地設計が変更されたようだが、その理由と手順は。

市長 変更の理由は、すでに移転にご協力いただいている権利者の皆様をはじめ、関係者の皆様の住宅再建や、土地利用に支障が生じることをないようにするためである。変更の手順は、当該権利者等の皆様の諸事情やご意向をお聴きし、他の権利者の皆様の仮換地に影響が生じないように、都市整備用地の活用を基本に、総合的に検討を行った変更案を権利者の皆様に提案し詳細なご説明をする。その上で改めて複数回の協議の後、最終的に「換地変更承諾書」により了承を得る。その後、「羽村駅西口土地区画整理審議会」に諮り決定する。

■その他の質問
「新型コロナウイルス対策などについて」



議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和3年8月1日～令和3年10月31日の主な活動

8月

- | | | | |
|-----|---|--------------------------------|---|
| 2日 | ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会(書面会議) | 17日 | ■ 第6回厚生委員会
■ 第3回羽村市基地対策特別委員会 |
| 3日 | ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会(書面会議) | ■ 第15回議会運営委員会
■ 第16回議会運営委員会 | |
| 4日 | ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会(書面会議)
■ 東京都市議会議長会定例総会(書面会議) | 21日 | ■ 羽村市基本構想審査特別委員会
■ 一般会計等決算審査特別委員会 |
| 5日 | ■ 第1回議会改革推進委員会 | 22日 | ■ 一般会計等決算審査特別委員会 |
| 30日 | ■ 第14回議会運営委員会
■ 第9回議員全員協議会 | 24日 | ■ 羽村市基本構想審査特別委員会 |
| 31日 | ■ 一般社団法人大多摩観光連盟令和3年度第8回通常総会(書面会議) | 27日 | ■ 第2回議会改革推進委員会 |
| | | 28日 | ■ 羽村市基本構想審査特別委員会 |
| | | 29日 | ■ 第7回広報委員会 |
| | | 30日 | ■ 第6回羽村市議会定例会(最終日)
■ 第2回羽村市多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会
■ 第10回議員全員協議会 |

9月

- | | |
|-----|--|
| 7日 | ■ 第6回羽村市議会定例会(初日) |
| 8日 | ■ 第6回羽村市議会定例会(2日目) |
| 9日 | ■ 第6回羽村市議会定例会(3日目) |
| 13日 | ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)
■ 羽村市基本構想審査特別委員会 |
| 14日 | ■ 第6回羽村市議会定例会(4日目)
■ 羽村市基本構想審査特別委員会 |
| 16日 | ■ 第4回経済委員会
■ 第4回総務委員会
■ 羽村市基本構想審査特別委員会 |

10月

- | | |
|-----|--|
| 11日 | ■ 第8回広報委員会 |
| 13日 | ■ 第4回羽村市基地対策特別委員会 |
| 19日 | ■ 西多摩地区議長会定例会議 |
| 22日 | ■ 羽村市基地対策特別委員会調査研究活動
■ 第3回議会改革推進委員会 |
| 25日 | ■ 第32回東京都道路整備事業推進大会(書面開催) |

市議会からのお知らせ 各会派の政務活動費を全額返還しました

令和2年度の各会派への政務活動費は、議員全員協議会における申し合わせにより、全額執行せずに、市に返還しました。

これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の停滞により、市税等の減少が見込まれたことや支援策の財源を確保すること、また、各会派による行政視察および研修の実施が困難であったことによるものです。

このため、令和2年度の政務活動費については、公費からの執行実績はありません。

しぎかいカレンダー

●12月定例会の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				11/25 陳情メ	26	27
28	29 議運	30	12/1	2	3	4
5	6	7 本会議	8 本会議	9 本会議	10 本会議	11
12	13	14 予特 (補正)	15 常任委	16 常任委	17	18
19	20	21	22 本会議	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 陳情メ…請願・陳情の12月定例会審議予定分の締切
- 議運…議会運営委員会
- 常任委…常任委員会（総務、経済、厚生）
- 予特（補正）
…一般会計等予算審査特別委員会（令和3年度補正予算）

※会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は12月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**
新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、傍聴に来られる皆さんの健康を守る観点から、議場にお越しになる際は、マスクの着用、手指消毒や検温、連絡先の記入などのご協力をお願いしています。咳や発熱などの症状がある場合は、傍聴を控えてください。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
多摩ケーブルネットワーク（TCN）で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後（土・日曜日、祝日を除く）から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
会議終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見ることができます。

羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

9月定例会での橋本新市政への一般質問は、市民生活に直結するコロナ禍対策と区画整理の検証に対してのものが多かったが、「新市政」の具体策は見えにくかった。前市長からの期待には工夫して応えてほしい。また、それを問うのが議会の役割でもあります。

決定事項を知らせる「広報はむら」に対し、議会だよりは、「何を、どう決めたか」のプロセスの透明化が大事だと思えます。行政用語は難解なので「難しいことをやさしく書く。やさしいことを深く書く。深いことを楽しく書く」が基本だと思っています。年4回の定例会に提出される100件近い議案を調べ、審議し、住民目線で賛否を決める。「これほど責任の重い仕事はない」が、議員としての実感です。（山崎）

【広報委員会委員】

富松 崇（委員長）
山崎 陽一（副委員長）
櫻沢 康 浜中 順
大塚 あかね 西川 美佐保
石居 尚郎 濱中 俊男

発行／羽村市議会 編集／広報委員会
〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
Tel 042 (555) 1111 (内線412～414、416)



「ぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。